

# P. U. P. News



発行元：進路指導部

## この一年を振り返り、皆さんは様々な面で成長できたでしょうか。

次年度も大きく成長をするために、高校生は自分で生きる技を修得し、中学生は、大人になるための様々な学びを実感できるよう頑張っていきましょう！

**I 今年度進路指導部を担当しました先生方からのコメントを掲載しました。皆さんの進路に対する重要な要素が沢山ありますので、次年度にしっかり活かせるよう頭に入れて下さい。**

### 進路部長 佐野 先生

「勉強」「勉強」と言われることが嫌な人が多いと思います。確かにやりたくないことを「やらされる」のは嫌なことです。「勉強」の語源は「勉め強いる」ことらしいです。文字からも辛さがにじみ出ています。でも、考えてみましょう。「勉強」しないということはどういうことなのか。

あなたは今100の力を持っています。友人たちは105とか85とか115の人もいるかもしれません。ところが、社会に出ている人たちは850とか1250とかの人が多くいたとしましょう。あなたは「勉強」しないとこれから先の一生を100の力で生き抜いていかななくてはならないのです。幸せをつかむチャンスはより高い数字の人に与えられるとしたら、すでに苦労を経験している周囲の先輩（大人＝保護者・教員 etc）はもちろんあなた方にできるだけ大きな力を蓄えていて欲しいと思うのは自然なことなのです。そうすればその力を使うも残しておくも自由なのですから。

今は辛いかもしれません。でも、続けていけば必ず「勉強」は理解できるようになります。理解できるようになれば楽しいものになります。楽しいものは続けられます。

「可能性を伸ばす」中学校生活・高校生活にしてください。「どうせ～」という言葉は禁物ですよ。

### 竹田 先生

・どんな難関校を受けるにしても、基礎は大切です。基礎とは知識だけでなく、学習方法や学習習慣も含まれるでしょう。基礎の大切さにいつ気付き、「意味のある学習」を早めに行えるかどうか勝負の分かれ目になります。もし迷ったら、授業で学んだことを完璧に振り返ることができるかどうか自問自答して下さい。これだけでも大きな力となるでしょう。

・勉強はつらい時もありますが、明るい未来をつかむためのものと信じて下さい。時には将来・未来の自分、自分が行きたい土地、学校などに対する想像を膨らませていくのもいいでしょう。まだまだ可能性のあるみなさんですから、いくらでもできることはあります。歩みを止めず、突き進むことを期待しています。

・最後に、何に対しても一生懸命、全力で取り組む経験をした人は、学習に関しても力を発揮します。

何にでもチャレンジしましょう！

### 石垣 先生

一粒の麦が、地に落ちて、土に帰れば、それが新たな麦となるたとえ話にもある通り、実はそれが正しい道だと思います。つまり、皆さんは、ずっと子供（麦）のまま居たいのかもしれませんが、ずっと麦のまま居る事は、つまりそこでそのまま腐ってしまう事になるのです。

新しい人になって生きるためには、誰でも地に落ちて（自分の現実を知り）、新たな麦つまりこれまでと違う成長した自分となって、大きく成長してください。

一年間ありがとうございました。

### 真栄里 先生

今年度高校3年生の進路指導に携わることが多かったのですが、そこで感じたのは進路実現のための準備は早いに越したことはないということです。ここでいう「準備」とは、高校3年生になったときの受験勉強だけを指しているわけではありません。高校3年生になるまでに、定期試験や模擬試験、各種検定へ向けた日々の学習や、部活動、行事活動等への取り組みが、そのまま受験勉強をする上での、ひいては進路実現のための土台となるということです。高校1、2年生は、近い将来の進路実現を見据え、前向きに勉強や色々な活動に取り組むようにして下さい。中学生は希望する進路が確定していない人も多いと思いますが、そういう人でも高校3年生に近づけば近づくほど進路意識は芽生えると思うので、まずは日々の学習や活動にしっかり取り組み、本格的に進路実現の努力をするときの土台を作っておくようにして下さい。

1年間ありがとうございました。

### 神谷 先生

進路を決めるということは大きな決断で、一旦決断しても迷いや不安はすぐには解消されないことと思います。自分が高校生だった頃を振り返っても、「将来何がしたいのだろう」「どこの大学で、何の勉強をしたいのだろう」と日々悩みながら生活していました。そんな自分の経験を振り返り、みなさんへのアドバイスとして、①友達・家族・学校の先生など自分の関わりのある人と将来の話をしてみる、②学校での進路学習を大切にする、③そしてこれらの経験や学びから得られた情報や自分の考えを書き出してみることをお勧めします。今、自分の進路に悩んでいる人は是非一度取り組んでみてください。そして進路を「選ぶ」ではなく、「選べる」という前向きな気持ちで考えてほしいと思います。一緒に頑張りましょう。

### 枝松 先生

この一年皆さんの様子から感じたことは、どの教科に限らず、試験問題文を読み理解するという力をつけて欲しいことです。何を問われているのかを頭で整理することが重要です。そのためには、国語力をつける。本や教科書を沢山何回も声に出して頭に内容を入れながら読むことをお勧めします。

また、人としての成長をするために様々な経験をつんで欲しいと思います。社会へ羽ばたくための訓練の場として学校を大いに活用してください。クラスメート、先輩や後輩、そして各教科の先生方の性格を知る能力を身につけ、人格を尊重し、学びあえる友人関係を築きましょう。

最後に、学習の基本でもある、じっくり腰を落ち着け、集中して、継続する癖を身に付けましょう！  
1年間ありがとうございました。

## II その他の勉強方法として紹介します。中学生、高校生の皆さん、自分のあった学習方法を見つけ、是非実践してみてください。

### 1 勉強の前に目的が先

なぜ勉強をするのか。やりたいことを3つ以内書き出し、それをできるようになるにはどうしたらよいかを調べ、考える。目的のない勉強はテンションが上がりにくいし、能率も下げる。

### 2 インプットとアウトプット

教科書や板書で一度頭に入れた知識は必ずノートに書くか声に出し、自分の知識にする。人に説明できるようにする。やってはいけないのは、ノートにただ書き写すことは無意味。

### 3 覚えるときは、声に出して赤や目立つ色でノートに書きまくる

### 4 解からないままは絶対ダメ

解らないところは、前に戻って理解してから進む。または、先生や友人に聞く。

### 5 問題集のレベルを知り、ステップアップしていく

問題集には、基本→標準→応用（過去問題）の流れをつかみ、最低3回～5回解き直し完全解答できるまで繰り返し、問題集のレベルアップを行う。この時、様々な問題集を解いて、色々な設問に慣れましょう。参考として駿台、ベネッセ、河合、東進なども使用する。この時、色々な問題集にいったん手を出さず、1冊ずつ完璧に終わらせていく。

### 6 過去問を徹底して解く

最低3校以上の過去問題を解き、問題の傾向をつかみ、志望大学の問題傾向をリサーチすることが重要です。さらに問題を解いても忘れないように1週間ごと1ヶ月ごとに反復し、模試を利用し、実力の付き具合を、自分で分析する。

### 7 仲間を作る

志を同じくしている仲間を作り、一緒に勉強する。この時の会話は相手と自分が向上できる内容であると望ましい。

### 8 勉強方法に固着しすぎない

つねに自分にとって最適なやり方を模索する。

### 9 ながら勉強からの卒業

音楽を聴きながらではなく、集中できる時間を延ばしていく

### 10 模試と試験答案の活用

間違えたところ、解らなかった所を絶対にそのままにしない。自分の弱点を、自分の力で強めておくことが肝心です。

### 11 大学の図書館を利用する

大学の図書館には、優れた資料・文献がたくさんあります。特に2次対策には好都合の場合です。大学の研究から作問されるパターンが多いので、論文検索などを活用しましょう。

## III 2017年 合格実績



南山大学	外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科
玉川大学	教育学部 教育学科初等教育コース 初等教育コース
同志社大学	文化情報学部 文化情報学科
お茶の水女子大学	文教育学部 言語文化学科
九州大学	医学部 保健学科 看護学専攻
関西国際大学	保健医療学部 看護学科
琉球大学	法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻課程
長崎大学	歯学部 歯学科
広島国際大学	医療経営学部 医療経営学科
獨協大学	経済学部 経営学科
拓殖大学	工学部 機械システム工学科
東海大学	工学部 精密工学科
白百合女子大学	文学部 フランス語フランス文学科
沖縄国際大学	総合文化学部 人間福祉学科 社会福祉専攻
大東文化大学	法学部 法律学科
立命館大学	薬学部 薬学科
明治大学	文学部 文学科 日本文学専攻
立教大学	文学部 日本文学専修
駒澤大学	文学部 国文学科
日本大学	文理学部 国文学科
成蹊大学	文学部 日本文学科
沖縄大学	国際コミュニケーション学科
聖路加国際大学	看護学部 看護学科

3月16日付の記事

※ 上記は、合格日の順番で掲載しています。紙面の都合上、同学部・学科の掲載はしていませんのでご了承下さい。